

平成21年度外部評価の反映状況

	事業名	所管課	H21所管課の評価	H21 外部 評価 員 意 見	H21外部評価	H21決算	H22予算	担当課の考え	H22所管課評価
1	産業人材育成事業	工業課	拡大継続	産業人材の育成は産業振興に直結します。即戦力として必要な知識・技能を習得できる場合は、今後ますます重要になると思います。すでに国県の事業とすみ分けながら、民間との連携も進めているとのことですが、生涯学習部門との連携も考えられます。本事業では、社会ニーズを掘り起こしながら、他でやっていないような事業に特化するべきではないでしょうか。よって今後の方向性は「効率化継続」と評価します。	効率化継続	17,811,499	19,612,950	外部評価委員からは、生涯学習部門との連携、社会ニーズの掘り出しによる他でやっていない事業に特化するべきとの意見をいただきました。そこで、産業人材育成事業の拠点となる技術情報センターの管理を指定管理者へ管理代行するにともない今年度は従来のIT・語学・簿記は指定管理者の自主事業として民間に事業を移管しました。また、専門性の高い次世代のものづくり産業を支える人材育成を行うため、製造業を中心とする企業ニーズに対応した支援メニューを提供するため金型産業向けの各種加工講座、長野高专で培われた社会人向けの組込み講座を市と高专の独自講座として開催、また、PLC・環境実務、CADなどの講座を開催、または今後開催を予定しています。このほか、理系志向のきっかけづくりのための小中学生向けのロボット製作講座、新社会人の準備のための高校生・新入社員等を対象としたコミュニケーション講座を開設しました。今後も企業ニーズを把握し特化した支援メニューを提供し、国県・民間・生涯学習事業とのすみ分けすることにより効率化を図り継続実施します。、なお、生涯学習部門との連携については、国のふるさと雇用再生事業を導入して高齢者向けのIT講習（おでかけパソコン教室）を実施しております。	効率化継続
2	生涯スポーツ事業	生涯学習スポーツ課	現状継続	スポーツに親しめる環境を整備し、スポーツの機会を増やすことは、市民の健康増進や豊かな生活に必要なだと思います。しかし、限られた財源の中で施設の管理を適切に行うために、利用者にも適正な負担を求めないででしょうか。よって今後の方向性は「効率化継続」と評価します。	効率化継続	43,276,618	42,042,900	限られた財源の中で施設の管理を適切に行うために、利用者にも適正な負担を求めないでほしいという意見をいただきました。市民の豊かなスポーツライフ実現のため、生涯にわたって継続的なスポーツ習慣の基礎づくりのために、地域に誰にでも、いつでも、気軽に参加できる地域住民による総合型地域スポーツクラブ育成を図っているところです。スポーツへの参画は、自主的・自発的な活動であり、従来の無料又は廉価で行政から提供されるとするものから、いわゆる受益者負担への意識転換を図りながら、自主的な活動への発展を目指す考えです。このクラブには、市のスポーツ教室と同様な教室が予定されており、この取り組み促進と併せ、市の教室を廃止し、この住民による自主的クラブが取組む事業として確立をしたいと考えています。	効率化継続
3	市民支援事業	市民課	拡大継続	事業内容は、区長会と各町の自治会に関する業務が中心のようです。ボランティア団体等の支援として共創のまちづくりパートナー制度に取り組んでいますが、成果がよくわかりません。よって今後の方向性は「効率化継続」と評価します。	効率化継続	58,017,680	55,654,010	外部評価員からは効率化継続という意見をいただきましたが、ボランティア活動に関する支援事業として、21年度「共創のまちづくりパートナー制度」のボランティア登録者は新たに6人増加で23人となり、消費者まつり以外でも活動していただいています。22年度は、各課で把握しているボランティア団体の調査等を予定しており、事業として拡大継続とします。	拡大継続
4	ごみ減量・再資源化事業	生活環境課	拡大継続	ごみの減量や再資源化は全ての市民に関係する重要な事業です。家庭ごみの全面有料化によって、市民の関心も高まっています。これをチャンスととらえて、生ごみのたい肥化や資源ゴミ分別の重要性をしっかりとアピールしてください。よって今後の方向性は「拡大継続」と評価します。	拡大継続	56,643,475	81,178,020	外部評価の意見にもありますが、市民の関心が高まっていることから、理解と信頼が得られるように、今まで以上にPRに力を入れてリサイクルを進めます。特に「生ごみの堆肥化等の推進」「さらなる分別収集の拡大」を図るため、効率化を進めながら、全体では拡大継続とします。	拡大継続

	事業名	所管課	H21所管課の評価	H21 外部 評価 員 意 見	H21外部評価	H21決算	H22予算	担当課の考え	H22所管課評価
5	介護保険 介護予防事業 (特定高齢者)	高齢者福祉課	拡大継続	多くの人は、自宅での自立した生活を望んでいます。また、老人養護施設の整備には限界があります。特定高齢者の介護予防事業は、重い介護状態になることを予防することで、自宅での生活を可能にするという、重要な役割を担っています。現在も、筋力向上トレーニングや脳元気教室など、工夫を凝らした事業を実施していますが、年々対象者が増えて重要性も増えています。よって今後の方向性は「拡大継続」と評価します。	拡大継続	49,181,683	55,570,500	早期に生活機能低下に気づき、早い時期から介護予防に取り組むことは、活動的な生活を継続していくためには大切です。生活機能低下がある高齢者が、要支援・要介護状態に陥らないように、介護予防事業の充実を図るため、拡大継続とします。	拡大継続
6	介護保険 介護予防事業 (一般高齢者)	高齢者福祉課	拡大継続	一般高齢者の介護予防事業は、要介護者の増加率を緩和するという意味で、非常に意義のある事業だと思います。現在も予防事業だけでなく、介護予防サポーターの養成教室を開催する等、人材の育成にも力を入れていて心強いです。引続き、地域社会で支え合う方策に力を入れていただきたいと思います。よって今後の方向性は「拡大継続」と評価します。	拡大継続	22,416,050	21,267,600	全高齢者を対象とした一般高齢者介護予防事業として、他課の事業との統合や介護予防普及啓発をさらに推し進めていきます。活動的な高齢者を増やすために、今後も拡大継続とします。	拡大継続
7	下水道事業 下水道水洗 化促進事業	上下水道課	現状継続	すでに下水道に接続している世帯は、未接続の世帯に不公平感を抱いています。個々の実情は察しますが、無理をして接続した世帯にとって納得できない事例も聞きます。現状のやり方では限界があり、新たな手法への転換点に来ているのではないのでしょうか。まず、市としての強い姿勢を示し、接続を促すような新しい仕組みを作るなど、工夫の余地はあると思います。よって今後の方向性は「効率化継続」と評価します。	効率化継続	7,614,214	8,104,300	外部評価委員からは「効率化継続」という意見をいただきましたが、下水道への接続については、簡単に解決できない問題を抱えているケースがあるため、地道な戸別訪問や相談等で接続率の向上を図る様に、現状継続とします。	現状継続
8	下水道事業 公共下水道 整備事業	上下水道課	現状継続	下水道の整備は、住環境や自然環境を改善するだけでなく、水害時における衛生面の心配も緩和します。引き続き整備を続けてほしいと思います。よって今後の方向性は「現状継続」と評価します。	現状継続	210,557,646	207,200,000	外部評価委員からも「現状継続」という意見をいただきました。計画どおりに平成24年度までに計画整備内の面整備を実施するため、現状継続とします。	現状継続
9	観光・誘客 宣伝事業	商業観光課	現状継続	観光協会等と連携をとりながら観光振興に力を入れていますが、市民に情報が入らなかったり、問合せ先がわからないことがまだあります。情報発信には力を入れているようですが、生涯学習や健康福祉などで活躍されている方々や産業界とも連携が図れば、効果的なPRや新しい観光・誘客資源を見つけることができると思います。また、今まで無かった新しい「つながり」を作り出すのは、様々な「つながり」を持っている行政の方がスムーズだと思います。よって今後の方向性は「効率化継続」と評価します。	効率化継続	51,044,970	44,185,390	外部評価員からは、各分野との連携を図ることという意見をいただきましたが、現状においても幅広い分野との連携を模索し、コストパフォーマンスを考慮したり、基本的な考え方のすり合わせを行いながら事業を行っているため、現状継続とします。	現状継続
10	人権同和 政策事業	人権同和政策課	現状継続	人権問題は日常の様々な場面で発生しています。誰もが当事者になりうる事を学習する必要があります。部落差別も重大な人権問題の1つですが、全ての人権問題に対して、市民全体で考えていく時期に来ていると感じます。よって今後の方向性は「効率化継続」と評価します。	効率化継続	7,780,169	5,978,050	外部評価委員からは「効率化継続」という意見をいただきましたが、人権問題の重要性は益々大きなものとなっておりますので「現状継続」とします。	現状継続

	事業名	所管課	H21所管課の評価	H21 外部 評価 員 意 見	H21外部評価	H21決算	H22予算	担当課の考え	H22所管課評価
11	部落差別をはじめあらゆる差別をなくす活動助成事業	人権同和政策課	現状継続	事業費を見ると、そのほとんどが部落解放に関する団体に交付されている補助金です。部落差別は重大な人権問題の1つですが、補助金の効果が分かりません。よって今後の方向性は「縮小継続」と評価します。	縮小継続	2,521,450	2,802,450	外部評価委員からは「縮小継続」との意見をいただきましたが、現状においても根深い差別が残っており、部落差別をはじめあらゆる差別をなくす活動は今後とも重要度がますます考えられるため「現状継続」とします。	現状継続
12	人権交流センター運営事業	人権同和政策課	現状継続	人権交流センターでは、施設の設定目的に沿って人権に関する各種相談業務や講座等を実施しています。公民館等の類似施設と比較すると利用頻度の低さが目立ちますが、施設の利用方法が限定されているとしたら仕方が無いと思います。よって今後の方向性は「現状継続」と評価します。	現状継続	8,891,797	8,912,800	外部評価委員からは「現状継続」という意見をいただきました。利用頻度を高め、多くの市民に使用いただけるよう努めることにより「現状継続」とします。	現状継続
13	農業後継者対策事業	農林課	現状継続	農業の担い手となる新規就農者の数は、将来の地域農業を支えるには少なすぎます。日本中の問題だと思いますが、農業後継者対策は十分な効果をあげていません。農家の担い手という視点から農地の担い手という視点に替えて、市をあげて異業種からの参入を呼び掛けたり、大規模農業法人を誘致するなど、地域農業の将来を見すえて、現実的な対策に切り替える時期だと思います。よって今後の方向性は「拡大継続」と評価します。	拡大継続	978,131	1,575,900	団塊の世代を対象として園芸高校と連携した市民農業大学校を継続し、加工も加えたカリキュラムの充実を図り、新規就農の知識の習得を進めています。また、異業種から参入する新規就農者のサポートを県（農業改良普及センター、果樹試験場）と連携して取り組んでいます。外部評価員から「拡大継続」のご意見をいただきましたが、21年度に利用されなかった新規就農者に対する市独自の支援制度もあるため、この事業の普及を図り現状の事業を継続します。	現状継続
14	蔵の町並みキャンパス事業	まちづくり課	拡大継続	市内を研究の場にしてもらって、市民も関わりながら若い人材の育成に貢献できるユニークな取組みだと思います。いずれ世界中に羽ばたく学生が須坂に集うという点で、将来への楽しみもあります。ただ、須坂市へのメリットなど、取組みの成果が見えずらく、協力した市民に中途半端な事業とのイメージを与えています。事業の趣旨も十分に理解されているとは思えません。今後も続けるのであれば、市民、学生、行政が互いにどう関わっていくのかを整理した方が良いのではないのでしょうか。よって今後の方向性は「効率化継続」と評価します。	効率化継続	2,962,250	3,691,150	毎年、蔵の町並みキャンパスの成果発表会を開催して、市民へ取組みの成果を発表しておりますが、年1回の開催でもあり成果が見えづらいということも感じております。平成22年度は、新たな取り組みとして蔵の町並みキャンパス市民講座を開催し、蔵の町並みキャンパスで取組んでいる内容の発表や担当教員の講演会などにより、多くの市民の皆さんに内容を知っていただき、市民、学生、行政が互いにどう関わっているのかについても、理解をいただく努めてまいります。併せてホームページや市報にタイムリーな情報を掲載し、PRも行います。	拡大継続
15	特別保育事業	子ども課	拡大継続	生活を維持するために長時間働かなければならない親が増えていると感じます。また、勤務形態が多様化するなど、特別保育事業の必要性は増していると思います。すでに一時的保育や交流事業、柳沢運動プログラムなどに取り組んでいますが、家庭の役割とのバランスも考えながら、引き続き特別保育の充実をお願いします。また、子供を育てやすい都市であることをPRできれば、人口の増加にもつながると思います。よって今後の方向性は「拡大継続」と評価します。	拡大継続	101,195,848	111,345,220	外部評価員のご意見のとおり、昨今の景気低迷により共働き世帯が増え、特に3歳未満児の保育園への入園が増えております。そのため、延長保育や一時的保育、また、特別支援児童の保育など、特別保育事業の充実を図り、拡大継続してまいります。	拡大継続
16	防災危機管理事業	総務課	拡大継続	大災害が発生すると、その影響は広範囲に及びますので、災害対策は地域や関係団体との連携が重要になると思います。想定される被害に対応できるような備えを引き続きお願いします。また、新型インフルエンザなど、災害の内容もさまざまですので、実際に役に立つマニュアルの整備を急いでください。よって今後の方向性は「拡大継続」と評価します。	拡大継続	23,966,523	28,431,600	外部評価員の意見のとおり、地域や関係団体との連携が重要ですので、引き続き防災マップ見直しを通じ様々な災害に対応できるような備えを進めます。また、今後も、地域コミュニティーづくりを進めるとともに各家庭での非常持出し品や家庭での備蓄を呼びかけるほか、防災設備の充実などを進めるため、拡大継続とします。	拡大継続